

## 臨床研究に関する公開情報

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了承できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

### [研究課題名]

間質性肺疾患患者における呼吸リハビリテーションが運動効率指標へ与える影響

### [当院研究責任者]

部署名 中央リハビリテーション 氏名 平澤純

### [研究の概要]

間質性肺疾患（ILD）患者さんの労作時の呼吸困難および運動耐容能（いわゆる体力）の低下は生活の質（QOL）の低下をもたらします。QOL や運動耐容能の低下に対して呼吸リハビリテーションの有効性が示されています。しかし、呼吸リハビリテーションで呼吸に対する運動効率を示す指標（例えば、無酸素性代謝閾値時の酸素摂取量、酸素摂取勾配効率、VE/VC02 slope）が改善するかどうかは十分に検討させていません。

そこで、今回これらの運動効率指標が呼吸リハビリテーションで改善するのか、また運動効率指標の改善が運動耐容能の指標である最高酸素摂取量の改善と関連するか検討することを目的とします。

本研究にて、運動効率指標の改善と最高酸素摂取量改善の関連が示されると、呼吸リハビリテーションにおける運動耐容能改善機序の因子として運動効率指標の改善の関連を示唆する事が可能と考えられます。

### [研究の方法]

- 対象となる患者さん 慢性安定期にある間質性肺炎患者さんのうち、2013年10月～2022年9月の期間中に、呼吸リハビリテーションを実施され、呼吸リハビリテーション前後で呼吸機能検査、心肺運動負荷試験の検査が行えている方。
- 除外基準は急性増悪後3ヶ月以内に呼吸リハビリテーションが導入された方、整形外科疾患・神経内科疾患等で歩行や運動の実施に制限が掛かる方、心肺運動負荷試験にて運動負荷開始前に終了となった方。

- 研究期間 倫理委員会承認後から 2029 年 3 月 31 日までです。
- 利用するカルテ情報 年齢・性別・身長・体重・疾患名等の特性、運呼吸機能検査、心肺運動負荷試験の各指標です。
- 利用するカルテ情報の管理 情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

収集する情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 中央リハビリテーション部 氏名 平澤純

電話 0561-82-5101